



特集
未来へつなぐ 子育ての今

夏まつりに向けてLet's Dance!!

大江スポーツクラブ「O-STEP」で開催しているキッズダンス教室は、体育センターで月2回の練習をおこなっています。7月23日の練習では、水郷おおえ夏まつりで披露するための新しい振付に挑戦。初めての動きにもすぐに慣れて、みんないきいきとした表情で躍動していました。

平成27年

8

No.654

未来へつなぐ 子育ての今

大江幼稚園入園式



昨今の子どもと家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。国では、平成24年8月にいわゆる子ども・子育て関連3法を整備し、これらの法律にもとづく「子ども・子育て支援新制度」が今年4月からスタートしています。

次の世代を担う子どもたちを、安心して健やかに育てていくための町の取り組みと、今後の展望を探ってみます。

わかば保育園「七夕夏まつり会交流会」年長組の太鼓披露



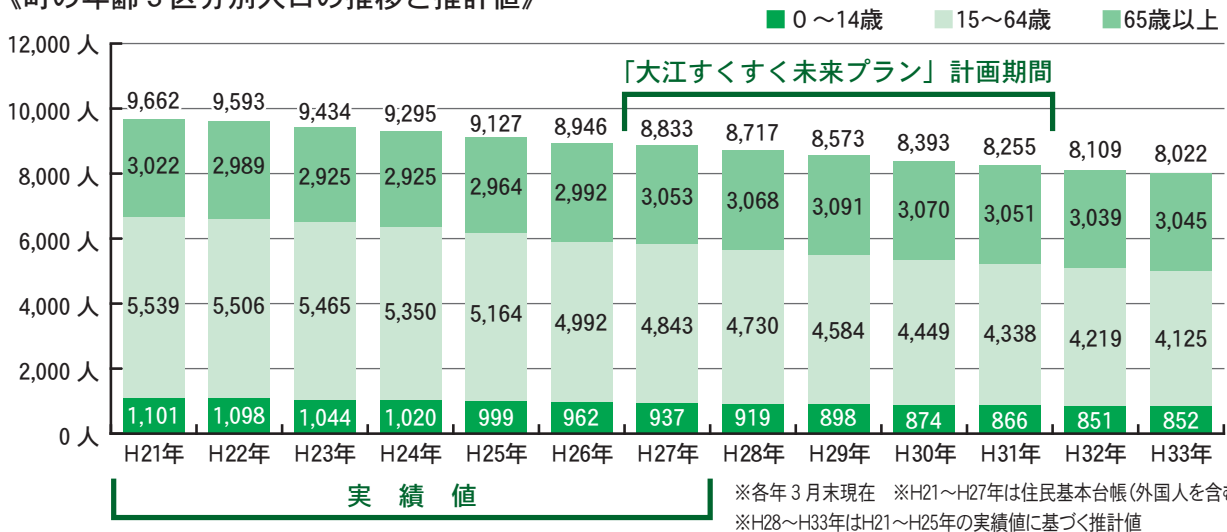
わが町の今の子育て事情

本町の人口は減少傾向が続いており、平成27年3月末現在、総人口は88,333人となっています。このうち、年少人口（0～14歳）は9,377人で、総人口の約10・6%です。平成26年10月1日現在の全国平均12・8%、県平均12・3%と比較すると低い割合になっています。

本町の子育て世帯の特徴は、多世代同居世帯（祖父母などの同居）が多くみられることです。しかし、1世帯あたりの平均人数は年々減少していることから、県や全国の現状に比べると緩やかではあるものの、核家族化が徐々に進行していることがわかります。

現在、町内には町立2カ所、民間立1カ所の合わせて3カ所の認可保育所があり、すべての保育所で延長保育、障がい児保育、土曜保育を実施しています。幼稚園については私立の大江幼稚園があり、預かり保育と2歳児保育をおこなっています。また、民間立のあゆみこども園では放課後児童クラブを実施しており、町立わかば保育園内には子育て支援センターが設置されています。今後

《町の年齢3区分別人口の推移と推計値》



《町内の幼稚園・保育園の入園者数》（平成26年12月1日現在）

（単位：人）

施設名		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	
幼稚園（私立）	大江幼稚園	平成26年4月1日現在			7	19	22	18	66
		平成26年12月1日現在			11	23	23	19	76
認可保育所（町立）	さくら保育園	平成26年4月1日現在	0	8	11	15	17	21	72
		平成26年12月1日現在	3	9	11	15	17	20	75
	わかば保育園	平成26年4月1日現在	0	7	6	8	9	13	43
		平成26年12月1日現在	0	10	8	9	9	13	49
認可保育所（民間立）	あゆみこども園	平成26年4月1日現在	4	16	5	7	4	3	39
		平成26年12月1日現在	15	16	5	7	4	3	50
合計		平成26年4月1日現在	4	31	29	49	52	55	220
		平成26年12月1日現在	18	35	35	54	53	55	250

※年度途中での入園など年度内の変動があるため、4月1日時点と12月1日時点の人数を掲載しています

ニーズ調査から見える現状

も、育児をする保護者の生活スタイルに合わせてさまざまな面から支援できるよう、さらに充実した体制づくりを検討しているところです。

本町では平成25年11月、就学前児童と小学生の保護者を対象に、子育てに関するニーズ調査を実施しました。その結果、子育てについて「楽しみや喜びを感じる」「生きがいを感じる」と答えた方は全体の7割を占め、保護者の多くが子どもを育てることに満足感を得ていることがわかりました。

一方で、子育てには少なからず不安や負担もあるようです。その内容として「仕事と子育ての両立の難しさ」「経済的負担」「子どもの健康や発達への不安」をあげた方が多くいました。子育て支援の充実については、「保育園、幼稚園の費用負担の軽減」「子どもや親子が自由に使える安全な場」を求める声が非常に大きいことも明らかとなっています。

経済情勢の変化や雇用への不安、ライフスタイルの変化などを反映して、子育て支援に対するニーズも多様化しており、現状の子育て支援体

子育てに関する住民ニーズ調査結果より

Q. 子育てで不安や負担を感じる理由は何ですか？
(不安や負担を感じている方のみ回答)



- ・仕事と子育ての両立が難しい
- ・お金がかかる
- ・子どもの健康や発達が不安
- ・遊び場や児童館などがない
- ・地域の医療体制が不安
- ・自分のための時間がない

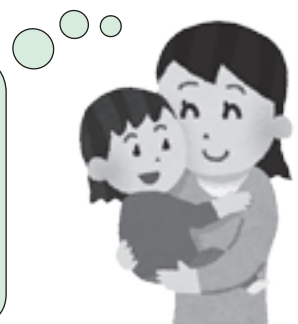


Q. お子さんをどのように育てたいですか？

- ・心も体もたくましく育てたい
- ・礼儀正しい態度や心を持たせたい
- ・自分の気持ちを表現できるように
- ・社会性や協調性を持つように
- ・好奇心旺盛で積極的な子に
- ・祖父母と協力して育てたい

Q. 今後、どのような子育て支援を充実してほしいですか？

- ・保育園、幼稚園の費用負担を軽くしてほしい
- ・子どもや親子が自由に使える安全な場がほしい
- ・予防接種など、医療面を充実してほしい
- ・自分が病気などになったとき、子どもを預かるサービスがほしい
- ・不定期に利用できる一時預かりサービスなどがほしい



見えてくる課題

- ・保育料を軽減する制度の拡充など、経済面からの子育て家庭の支援
- ・健康診断や予防接種、小児医療の充実
- ・さまざまなニーズに対応できるような町立施設の統合や改修などの取り組み
- ・子育て支援センターのさらなる充実
- ・放課後児童クラブの利便性の向上と拡充
- ・親と子どもが安心して遊べる、屋内での遊び場所の確保
- ・若者の定住促進や婚活に関する事業の推進

「大江すくすく未来プラン」は、子どもたちが健やかに生まれ、心身ともに健全に育っていくことをめざし、「子どもは まちの宝物」を基本理念としました。この理念のもとに、妊娠期からの出産・育児に関する相談体制、多様な教育・保育の充実などとともに、男女がともに仕事と子育てを両立でき、子どもを生み

制の課題が浮き彫りになったといえます。

こうした保護者からの声や、これまで町がおこなってきた取り組みの達成状況などを踏まえ、本町では今年3月、「大江すくすく未来プラン—大江町子ども・子育て支援事業計画—」を策定しました。策定にあたっては、保護者や子育て支援に関係する事業者、教育関係者などで構成する「大江町子ども・子育て会議」により計画内容を検討してきました。また、今年1月には計画の素案に対する一般の方からの意見募集（パブリックコメント）を実施するなど、さまざまな協議や幅広い意見の収集がおこなわれています。

次世代のための新しい子育て支援プラン

制の課題が浮き彫りになったといえます。

「子育て支援センター」ってどんなところ？

子育て中は不安やストレスがたまりがちになります。悩みを相談したり、情報交換をしたりする仲間がいれば……そんなふうに思うことはないでしょうか。

お子さんと一緒に参加し、同じように子育て中の方々とお話をしたり、子育て経験豊かなスタッフに相談したりできるのが子育て支援センターです。

毎週火曜日から土曜日、未就園児とその家族の方のために「子育てひろば」を一般開放しています。そのほか、毎月さまざまな催しをおこなっています。

※お問い合わせは、子育て支援センター（わかば保育園内） ☎85-0433まで



「おもしろいな」

それぞれの季節に合ったテーマで、みんなで工作などをして遊びます。



大沼 朋子さん（みなみ）
みお 望桜ちゃん（1歳2カ月）

休みの日に家で子どもと一緒にいると、目が離せなくて大変。こういう場があると、ほかのお子さんや保護者の方、施設の方もいるのでとっても助かりますね。



大泉 由起さん（6区）
さくら 咲来ちゃん（1歳3カ月）

子どもがまだ小さいので、同じ年代の子たちと遊ぶ場があるのは嬉しいですね。ほかのお子さんの成長ぶりを見て、自分の子どもと比べられるのもいいところです。

こんな活動もおこなっています！



「ママカフェ」

お茶を飲みながら、いろいろなお話をする交流の場です。リラックスしながら、情報交換や相談なども。



子育てサークル「ちびっこランド」

未就園時の子を持つ親と子の、子育てサークルの活動です。毎月第1・第3木曜日におこなっています。



子育て支援事業

講師の方をお招きしていろいろな話を聞きます。7月は栄養士の方の「食育のはなし」でした。

子育て支援センターは、未就園児とその家族を対象に「子育てひろば」を一般開放しているほか、いろいろな楽しい催しをおこなっています。子育て中の方々同士でおしゃべりをしたり、専門スタッフに相談したりできる交流の場として、ぜひ多くの方に利用していただきたい施設です。育児の援助を受けたい方と、育児を援助したい方がお互いに利用できるサービスもあります。わかば保育園内の「ファミリー・サポート・センター」は、サポートを受けたい方サポートをおこないたい方が会員と

助け合い育て合うために

子育てしやすい環境づくりを進めていきます。計画の期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間です。国や県の政策の動向、社会や経済の情勢の変化を見極めながら、必要に応じて見直しをおこなっていきます。

『子どもは まちの宝物』 ～子どもを生み育てやすい環境の整備～

子ども・子育て支援に関する施策の総合的な展開

健やかに生み育てられる環境づくり

- 各種健診・歯科保健対策の充実
- 育児健康相談・健康教育の充実
- 乳幼児医療の充実 ● 児童虐待の防止対策
- 障がいのある子どもへの支援

子どもの健全育成に向けた環境づくり

- 幼稚園と認可保育所の連携
- 家庭教育への支援 ● 交流活動の推進
- 安全対策の充実 ● 食育の推進



子育て家庭を支援する環境づくり

- 子育て支援・子育て相談サービスの充実
- 男女共同参画で子育てをする環境づくり
- 仕事と子育てが両立できる環境づくり
- ひとり親家庭への支援
- 経済的支援の充実
- 若者が定着できる環境づくり



国の「放課後子ども総合プラン」に基づく本町の取り組み

- 放課後児童クラブのニーズへの対応
- 開所時間延長の実施
- 放課後子ども教室における多彩な体験教室の開設
- 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の担当部署の連携による実施

なり、保育園、幼稚園などの開始時刻前や帰宅後、休みの際の子どもの預かりなどのサービスを利用することができません。依頼・協力の両方の会員となることも可能ですので、お互いに助け合い、子育ての楽しさも負担も分かち合うことのできる活動といえます。現在、利用者は少数ですが、認知度を高めるために今後いっそうの普及活動を進めていきます。

ニーズに応える新事業 子どもの一時預かり

仕事をしながらの子育ては、保護者にとって大変なことです。仕事などの事情や、疲れや病気のために子どもの面倒を見られなくなることもあります。そんな時に子どもを預かってくれるサービスを求める声が増えてきました。ニーズ調査で多く寄せられました。そうした声に応える形で、今年度から「子育て短期支援事業」が始まっています。これは、子どもの養育が一時的に困難になった場合、寒河江市の児童福祉施設・寒河江学園で一時的にお預かりするサービスです。最長で6泊まで利用できるほか、宿泊を伴わない夜間の預かり支援もあります。

また、民間立のあゆみこども園でも一時保育をおこなっています。普段家族が世話をしている保育園に通っていない子供が対象となっており、パート勤務のため、あるいは病気などで家庭での保育が一時的に難しくなった場合などに利用することができます。

いきいき子育て支援事業拡充で 3人目以降保育料全額支給

また、子育てにかかる経済的負担の軽減への要望も多くあります。そこで、これまでおこなってきた「いきいき子育て支援事業」の内容を今年度から拡充しました。18歳未満の子どもを3人以上扶養している方のうち、3人目以降の子どもを保育園や幼稚園に入園させている保護者へ、保育料の全額（幼稚園就園奨励費などの給付金を受けている場合、その金額を除いた額）を支給することとなりました。

子育て支援の拠点としての 町立保育園の今後

少子化が進む本町の現状からみて、現行の町立保育園2カ所という状況

「ファミリー・サポート・センター」とは?

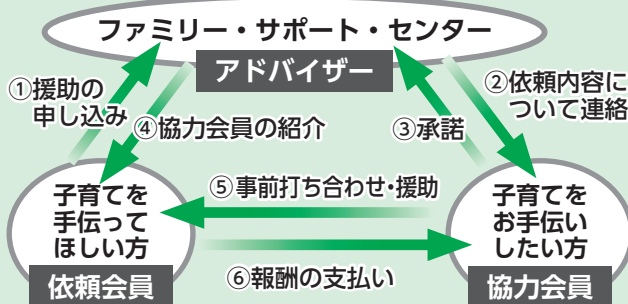
地域の中で、育児の援助を受けたい方と育児を援助したい方が会員となり、会員同士が育児に関する援助活動をおこなうことで、保護者の負担軽減や、仕事と育児を両立し安心して働ける環境づくりをめざす活動です。

こんな活動をしています

同じ地域の中、家庭的な雰囲気の中で、1対1でお子さんを預かり、お子さんの成長をご家族の皆さんとともに共感し合えるような活動をします。また、子育て中の方が、少しでもゆったりと過ごすことができるようサポートします。

- (活動例)
- 保育園・幼稚園・小学校などの開始時刻前や終了後に子どもを預かる
 - 保育園・幼稚園・小学校などまでの送迎
 - 保護者の仕事などの都合により、子どもを預かる

活動の流れ



利用条件

- ★対象年齢：生後6カ月～小学6年生
- ★支援活動の場所：原則として、協力会員の自宅
- ★利用料金：子ども1人につき1時間あたりの料金で計算します。

区分	時間	料金(平日)	料金(土日祝)
昼間	7時～19時	500円	600円
早朝	6時～7時	600円	800円
夜間	19時～21時	600円	800円

※お申し込み・お問い合わせは、大江町ファミリー・サポート・センター(わかば保育園内) ☎85-0433まで

が将来的に継続していくことが難しくなると予想されます。一方で、多様な保育のニーズにこたえるために、よりきめ細かな保育のあり方を考えていく必要もあります。

こうしたことから、町では平成30年4月を目標に、さくら保育園とわかば保育園を統合する予定です。これに伴い、わかば保育園の改修と周辺整備の準備を、今年度から進めていく予定としています。地域の子育て施設の拠点となるよう、子どもた

ちがのびのびと遊べて、保護者や地域の方々が交流できる空間をイメージしながら、施設整備を検討していきます。

未来世代のために さらなる充実を

これからの世代の育成のため、そして次の時代の町づくりのために、「大江すくすく未来プラン」には、子ども子育て支援に関する取り組み

を総合的に展開していくことを盛り込んでいます。

まずは、母親が健康で安心して妊娠・出産することができ、子どもたちが健やかに成長していけるような環境づくりを進めていくことが大切です。母子ともに健康な生活を送れるよう、各種健診や訪問指導、育児・健康相談を充実させていきます。また、乳幼児期は病気にかかりやすく、医療機関を利用する機会も多くなります。このため、乳幼児医療制度を

推進し、経済的負担を緩和していきます。

育児に関する不安を軽減し、子育ての楽しさを実感することができるよう、子育て家庭に向けた支援の充実も求められています。子育て支援センターの機能の拡充、訪問事業の徹底などがその代表的な例です。男女が共同して育児や家事をおこなうことや、仕事と子育てを両立できる環境づくりのために、各種情報提供や啓発活動も積極的に実施していきます。さらに、若い世代の定住を促進するために、住宅団地や賃貸住宅の整備、企業の誘致などによる働く場の確保も重要です。現在造成が進んでいる藤田地区住宅団地も、次世代の育成に深く関連する事業のひとつといえます。

ほかに、幼稚園と保育園の連携、地域の交流活動の促進、食育の推進など、これからの子育て支援のために必要なことは、実にさまざまな方面にわたっています。

あらゆる世代が手を取り合い、将来の町を担う世代のために今できることを、これからも一つひとつ考え実行していくことが、やがて未来へとつながるかけ橋になっていくのではないのでしょうか。

追分と舟唄の出会い ～北海道・江差町長来町～

6月28日に開催された正調最上川舟唄大会に、北海道江差町の照井誉之介町長が来場しました。また、江差追分会・江差三下り会の会員8名も来場し、美しい唄と踊りを披露して会場は大いに盛り上がりました。

江差追分は、日本を代表する民謡のひとつに数えられています。昭和38年から始まった江差追分全国大会は、毎年大勢の参加者でたいへんな熱気に包まれるイベントとなっています。

大会終了後、照井町長と若手町職員や町内の商工業、農業青年との懇談会が開かれ、町づくりについて活発な意見交換がおこなわれました。

今回の来町が縁となって、9月20日に江差町で開催される江差追分全国大会に正調最上川舟唄保存会が招待されることになりました。これを契機として、今後両町の活発な交流がおこなわれることが期待されます。



照井 誉之介
江差町長

昭和59年、東京都目黒区に生まれる。平成20年3月、早稲田大学政治経済学部卒業。同年4月、北海道新聞社に入社。平成26年4月、同社を退社し、江差町長選挙に出馬、初当選。同年8月、江差町長に就任し、国内で現役最年少の首長となる。



▲江差追分



▲町内の若者との懇談会



元気な毎日は歯の健康から！～大江町歯と口腔の健康づくり推進条例～

歯と口腔の健康は、食べる喜び、話す楽しみを感じるための源です。体の健康だけでなく、精神的な健康を保つうえでも大切な要素のひとつでもあります。

そこで、町民の歯と口腔の健康づくりを進めるための施策を総合的に推進し、町民の生涯にわたる健康で質の高い生活を確保するための「大江町歯と口腔の健康づくり推進条例」が、大江町議会6月定例会で制定されました。この条例では歯の病気の早期発見、早期治療や乳幼児期から高齢期までの健康づくりの促進、保健、医療、福祉、労働衛生、教育その他の関係者との協力や連携を基本理念としています。

条例にもとづく町の取り組み

(『いきいき健康行動計画21 おおえ(第2次)』より)



①歯や口腔内の機能維持の啓発

生涯にわたる口腔機能の維持・向上のため、正しい知識の普及啓発や保健指導などに取り組みます。

②むし歯予防の推進

歯科保健関係者間の連携を図りながら、歯磨きや食事に関する保健指導を推進するとともに、希望者へのフッ化物の塗布など、効果的な虫歯予防の対策に取り組みます。

③定期的な歯科の健診の実施

町民が定期的に歯科検診などを受ける機会が確保できるよう、関連機関に啓発をおこない「かかりつけ歯科医」の普及定着を図ります。また、町民の自主的な歯科保健への取り組みを支援します。

④高齢者の口腔衛生の普及

介護予防事業で口腔衛生の普及を図り、80歳になっても20本以上の歯を保つ「8020運動」を実践していきます。

また、町では特定の年齢に達した方を対象に歯周疾患検診を実施していますが、満60歳の方は今年度から無料で受診できるようになりました。

※お問い合わせは、健康福祉課保健衛生係 ☎ (62) 2114まで

■交通事故のない安全な社会を目指して ～大江町交通安全町民大会～

町民一人ひとりが交通安全を誓い、交通事故防止の意識を高めようと、交通安全町民大会が7月12日に東地区公民館で開催されました。この大会には交通安全協会や安全運転管理者協議会、老人クラブ連合会などのほか、一般の方も含め約400名の方が参加しました。

大会は、参加者全員による「舟唄の里 交通安全7ヶ条」の朗唱と、交通事故犠牲者への黙とうで始まり、大会会長と来賓のあいさつの後、山形県警察音楽隊による演奏が披露されました。

続いて町内の幼稚園児、保育園児と、山形県警察のマスコットキャラクター「カモンくん」が、警察音楽隊の演奏する交通安全マーチにあわせて踊り、参加者や保護者の方から大きな拍手が送られました。このステージには、左沢高校の有志生徒が制作したご当地キャラクター「シェイガー」も参加。新しいヒーローの登場に、子どもたちも大喜びでした。

その後、交通安全母の会役員が交通安全寸劇を演じ、身近にひそむ交通事故への注意を呼びかけました。最後に左沢高校2年生の新宮愛梨さんが「私たちみんなの力を結集し、安全で笑顔の町にしていきたいです」と力強く決意を表明し、大会を締めくくりました。



▲町内の園児たちとカモンくん、シェイガーによる交通安全マーチ



▲新宮愛梨さんの決意表明



▲山形県警察音楽隊のパフォーマンス

会長の石川博資さん（葛沢）は、「最上川舟唄は、今や日本を代表する民謡としていろいろな場面で唄われています。保存会としても今後活動にいつそう励んでいきたいです」と、表彰を受けた喜びを話していました。

6月8日に開催された山形県観光物産協会の総会において、本町の正調最上川舟唄保存会が観光物産事業功労者として表彰を受けました。
正調最上川舟唄保存会は昭和29年に設立されて以来、正調最上川舟唄全国大会の企画運営をはじめ、各種イベントで最上川舟唄と踊りを披露するなど、舟唄の伝承とPRのための活動をおこなってきました。



山形県観光物産事業功労者表彰
正調最上川舟唄保存会

輝いて
今

様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します

第37回寒河江西村山地区 自動車安全運転競技大会

◆団体の部

●優勝 大江支部

◆個人の部

Aクラス

●準優勝 村上亜紀夫さん
(株式会社クレンス興産)

Bクラス

●準優勝 渡辺みなみさん
(大江町役場)

Cクラス

●準優勝 白田 篤志さん
(大江町役場)

事業所従業員の運転技能向上と交通安全に対する意識の高揚、交通事故防止を目的とした寒河江西村山地区の自動車安全運転競技大会が、7月5日に寒河江市で開催されました。大江町からは5名の選手が出場。うち3名が上位入賞し、団体の部では見事に2連覇を達成しました。



7/1 犯罪や非行のない社会のために

第65回社会を明るくする運動の出発式が、7月1日に役場前でおこなわれました。社会を明るくする運動は、地域の力で犯罪や非行を防止するとともに、立ち直りを支える社会づくりを目指す運動です。7月は強調月間として全国一斉に啓発運動が展開されます。

この運動は西村山地区保護司会大江分会が中心となって実施し、出発式には町青少年健全育成センターなどの会員が出席。式の終了後は大江中学校前と左沢駅前啓発活動をおこない、明るい社会づくりへの協力を呼びかけました。



7/5 身近な植物から山城をしのぶ

「山城を歩こう！」と題した左沢楯山城跡現地見学会が7月5日におこなわれ、48名が参加しました。今年度2回目の見学会であるこの日は、山形県文化財保護指導員の吉野智雄さんを講師に迎え、楯山城跡に自生する植物を観察しました。

「イシャイラズ」の別名を持つゲンノショウコや、自然暦として利用されたタニウツギなど、楯山には先人たちの生活に関わってきた植物が数多く生育していました。また、あまり知られていない植物や意外な利用法もあり、吉野さんの解説に参加者から驚きの声があがる場面もありました。



7/16・17 手作りカレーは格別の味！

自然の中での体験活動を通して、仲間との協力の大切さや郷土の自然について学ぶ、本郷東小学校5年生の「冒険学校」が、7月16日から17日にかけて山里交流館で実施されました。

1日目は施設周辺の自然散策や草木染めを体験し、夕食は野外で鍋を使ってのカレー作りに挑戦。火起こしや火加減に悪戦苦闘しながらも、児童たちはみんな協力して作りあげ、完成したカレーをおいしそうに食べていました。その後は山里交流館で宿泊し、翌日は貫見地区のウォークラリーをおこないました。



7/16 食を知り健康を知る

食生活改善推進員を養成するための講習会が、7月16日に保健センターでおこなわれました。

はじめに村山保健所の的場祐子獣医師による食品衛生についての講話があり、参加者は食中毒を予防するための方法などを学びました。

続いての調理実習では、参加者がオリーブオイルを使用するなど栄養分を効率よく摂取するためのメニューに挑戦しました。この講習には公衆衛生看護学実習で本町を訪れている山形大学医学部看護学科の学生2名も参加し、真剣な表情で調理に取り組んでいました。

《競技結果》各種目優勝者のみ

★50m 自由形

- 5年男子／建部 陽（左沢）50秒9
 5年女子／今野朱莉音（本東）37秒7
 6年男子／菊地 太陽（本東）33秒5
 6年女子／工藤こころ（本東）32秒8（大会新）

★100m 自由形

- 6年男子／稲村承太郎（本東）1分33秒1
 6年女子／松木 心優（左沢）1分31秒0

★50m 平泳ぎ

- 5年男子／伊藤 光輝（左沢）56秒4
 5年女子／後藤 美咲（左沢）50秒6
 6年男子／駒林 徹大（左沢）50秒7
 6年女子／柏倉 咲（左沢）50秒9

★100m 平泳ぎ

- 6年男子／駒林 徹大（左沢）1分52秒1
 6年女子／柏倉 咲（左沢）1分50秒6

★50m 背泳ぎ

- 5年男子／菊地 道登（本東）1分00秒3
 5年女子／鴨田 千宙（左沢）52秒0
 6年男子／高橋吏希斗（左沢）47秒6
 6年女子／渡辺 楓（本東）54秒7

★100m 背泳ぎ

- 6年男子／高橋吏希斗（左沢）1分52秒7
 6年女子／石川 明優（左沢）2分23秒1

★50m バタフライ

- 5年男子／須貝 駿太（本東）1分03秒0
 5年女子／大谷 憩生（左沢）47秒3
 6年男子／後藤 輝多（左沢）46秒8
 6年女子／佐竹真悠子（本東）49秒0

★100m バタフライ

- 6年女子／工藤こころ（本東）1分20秒1（大会新）

★200m 個人メドレー

- 6年男子／菊地 太陽（本東）2分51秒9

★200m メドレーリレー

- 男子／本郷東小6年 3分00秒8
 女子／本郷東小6年 3分13秒1

★200m リレー

- 男子／左沢小6年 2分39秒8
 女子／左沢小6年 2分45秒8

7/8

かっぱい水しぶきをあげて

町内小学校の水泳大会が、7月8日に町民プールでおこなわれました。左沢小学校と本郷東小学校の5・6年生が、日頃の練習で身につけた力強い泳ぎで記録更新を目指しました。



7/7

軽快なラリーで汗を流す

あじさい大江ラージボール卓球交流大会が、7月7日に体育センターで開催されました。ラージボール卓球は通常の卓球よりも大きなボールを使用するため、スピードが遅くラリーが続きやすいという特徴があり、町のラージボール愛好会を中心に多くの方が楽しんでいるスポーツです。

13回目となる今大会には、町内外から161名がエントリー。それぞれが年齢別のリーグ戦とトーナメントで上位を目指し、軽快な動きとラケットさばきで白熱した試合を展開しました。



近頃、テレビ・新聞・国会などで、「戦争」とか「武力」とか「武器」……いままではあまり聞いてこなかった言葉が多く出るようになって、ある時代に歌われていた歌、「魔神の呪アルペンの 白雪永久に清からず 見よ永劫と誓いけん 平和の春は短くて……」を時々思い出してしまう。戦争には「難しい」「簡単だ」は無い。怖いだけだ。防衛にも、「正当」「過剰」「誤想」……と様々あり、正当防衛が誤想防衛だったりすることもある。これもまた「怖い」。「戦争」の話は、語る方も聞く方もつらいものばかりだ。戦争では、「私は撃たないから、あなたも撃たないで」は通用しない。

「国民主権・基本的人権の尊重・平和主義」の3点が、日本国憲法の基本だ、と教わってきた。「あやまちは二度とくりかえしません」と、広島と長崎の平和公園に刻んだ70年前の日本は、そんなに遠い昔のことなのだろうか。

「……ケンクワヤ ソシヨウガアレバ、ツマラナイカラヤメロトイヒ……ホメラレモセズ、クニモサレズ サウイフモノニワタシハナリタイ」

危機を避けて通る「人間の知恵」が試されている。宮沢賢治先生、「続・アメニモマケズ」をお示しください。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.24

江戸時代初期、庄内藩初代藩主である酒井忠勝の弟・酒井直次を藩主として成立したのが左沢藩です。その領地は最上川筋の重要な地点にあり、近隣の有力な外様大名を抑えることが酒井家の役割でした。小漆川の台地は北と東を市の沢川、南を月布川によって隔てられた要害の地であり、直次はこの地形を生かして小漆川城を建設し、城下町を造営しました。また、直次は同時期に巨海院を菩提寺としました。巨海院は城の西側に移転し、小漆川城の支城としての役割を果たしたと考えられています。

やがて左沢藩は幕府に接收され、その旧領は松山藩の領地となり、小漆川城は取り壊されてしまいました。その後も城下町には武家が居住していました。小漆川城の城跡は、現在は小漆川区と13区の区域になっています。城跡の街並みでは、建物や堀があった痕跡が現在も残っており、城とともにおかれた社寺や間口の広い武家屋敷風の地割、大型の民家を見ることが出来ます。

小漆川城跡の街並み



短歌

歳重ね過去なつかしく脳裏よぎ苦の人生も生き甲斐ありて

菅井 妙子

ささやかな家庭菜園楽しみて朝もぎトマト母に手渡す

佐竹磨砂湖

食糧の増産に励みし吾が田畑スーパー建ちてその客となり

菊地つねよ

ふる里の地下水流れる川端をやんまを追ひし遠き夕暮

佐竹 麗子

草刈れば夏の虫等は逃げまどふ我は破壊の神の如くに

山家 重之

こぼれ日の林の中にひっそりと姿うるわし早蕨の花

佐竹 與鼓

終戦の四月先輩兵は散り逝けり吾は陸軍生徒たりしぞ

斎藤 徳治

俳句

雨上り紫陽花の花生き生きと

菅井 妙子

炎熱の山路半ばに清水あり

今井 茂樹

団扇からにらむ達磨よ幼き日

山家 重之

別れ際そつと一輪紅の花

阿部 一風

腕白に与へし団扇骨となり

金子脩一郎

庭の皆夏台風の余波に揺れ

熊谷 勉

良き雨と農夫笑顔の青林檎

舟山 三男

扇ぐ人の心が通ふ団扇風

伊藤 啓泉

吟遊浪漫
ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



Youthful トーク

地域への思いを胸に羽ばたく

古田 卓也さん (22歳・9区)

小学生のころから数学がずっと得意教科だったという古田さん。現在、山形大学理学部で数学を専攻しています。大学で研究する数学というと難解なイメージがありますが、古田さんは「数式や証明は確かに難しいですけど、小さいころから計算が好きだったので、数字を見ているのは楽しいです」と話します。

得意なスポーツは、小学生の時に始めた野球。中学、高校と野球部でキャッチャーを務めていました。今でも町のソフトボール大会に参加したり、野球観戦に行ったりしているそうです。

地元9区の青年会の活動などにも積極的に参加している古田さんは、教育関係の業種を志望し、現在就職活動の真っただ中です。

「就職するとこの町を離れることになるかもしれませんが、必ず戻ってきたいです。地元はやっぱり落ち着きますからね」と、将来について話してくれました。

地域おこし協力隊通信

No.14

本町の新たな地域おこし協力隊員として野木桃子さんが活動することになり、6月22日に辞令が交付されました。



野木 桃子さん

☆年齢：23歳

☆出身地：福島県伊達市
(旧保原町)

☆趣味・特技：
旅、ものづくり、
バスケットボール

はじめまして。桃の里、福島県伊達市から来ました、野木桃子です。今は七軒地区(沢口)に住んでいます。大江町の木を使ったものづくりや、きれいな空気と水に恵まれ、積雪の多いこの土地ならではの食文化に魅力を感じています。

最近、野菜やお花の苗をいただいたのをきっかけに、小さいながら畑を始めました。太陽の光を浴び、恵みの雨に感謝し、時に人の手を借りて成長していく植物のように、私も少しずつ実をつけていければと思います。どうぞよろしくお願ひします。



↑西山杉を使ったコースター作り (左沢小)



↑『里の幸』さんと切り梅作り (旧七軒東小)

お知らせ

Information

臨時福祉給付金の支給申請の受付が始まります

消費税率の引き上げによる影響などを踏まえ、本年度も所得の低い方に対して、臨時的な給付金を支給します。

9月から支給申請の受付を開始しますが、対象者と見込まれる方には8月末までに申請書用紙などを郵送しますので、書類を確認のうえ申請してください。

◆支給対象者／平成27年度分の町民税（均等割）が課税されていない方（※課税されている方の扶養となっている方、生活保護を受給されている方などは除きます）

◆支給額／支給対象者一人につき6千円（※基礎年金受給者などに対しての加算措置はありません）

◆申請期間／平成27年9月1日（火）～11月30日（月）

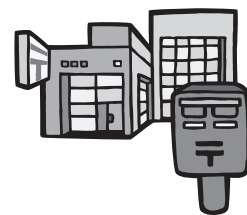
◆申請方法／健康福祉課に持参いただくか、郵送にて提出してください。

◆その他／詳細については、全戸配布のチラシをご確認ください。

郵便による不在者投票制度について

◆郵便による不在者投票制度とは

身体の障害が一定の程度に該当する方で「郵便等投票証明書」の交付を受けた方が、郵便により投票する制度です。



◆郵便による不在者投票対象者

手帳等の種類	障害の種類など	障害の程度
身体障害者手帳	両下肢、体幹、移動機能の障害	1級もしくは2級
	心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障害	1級もしくは3級
	免疫、肝臓の障害	1級～3級
戦傷病者手帳	両下肢、体幹の障害	恩給法別表第1号表ノ2の特別項症～第2項症
	心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓の障害	同表の特別項症～第3項症
介護保険被保険者証	要介護5	

以上に該当する方であっても、実際に郵便による不在者投票を行うためには、郵便等投票証明書の交付を受けていなければなりません。

◆郵便等投票証明書の交付から投票まで

- ①選挙人自身が署名をした郵便等投票証明書交付申請書を選挙管理委員会へ提出します。
この申請には、郵便等投票による不在者投票ができる者に該当することを証する書類（身体障害者手帳、戦傷病者手帳、介護保険被保険者証など）の添付が必要です。
- ②選挙管理委員会は①の申請で郵便による不在者投票ができる者と認めるときは、申請者に対し郵便等投票証明書を郵便で交付します。
- ③郵便等投票証明書の交付を受けた方は、その証明書を添えて投票用紙等の交付請求をおこないます。【請求できるのは、選挙期日の4日前までです。】
- ④選挙管理委員会は、投票用紙等を申請者に対し郵便で交付します。
- ⑤選挙人は投票用紙等に必要事項を記入し、選挙管理委員会へ郵便で返送して投票は終了です。

※自ら投票の記載をすることができないものとして政令で定める方は、あらかじめ選挙管理委員会の委員長に届け出た方（選挙権を有する方に限る）に投票に関する記載をさせることができます。

※お問い合わせは、大江町選挙管理委員会 ☎ (62) 2112まで

こころの健康づくり講演会のご案内

村山保健所では、地域住民の方を対象に児童・思春期関連問題についての講演会を開催します。児童・思春期の心についての正しい知識や具体的な対応方法など一緒に学んでみませんか?

- ◆日時 / 9月2日(水)14時~15時45分
- ◆場所 / 村山総合支庁本庁舎 2階講堂
- ◆内容 / 講演 「思春期のこころのつき合い方」
—こころがしんどい子どもたち—
講師：若宮病院 精神科医師 成重竜一郎氏
- ◆申込締切 / 8月21日(金)まで電話にてお申込みください。

※お申し込み・お問い合わせは、村山保健所精神保健福祉担当 ☎023(627)1184まで

障害福祉サービスなどの対象が拡大されました

障害福祉サービスなどの対象となる疾病の種類が、151種類から332種類に拡大されました。対象となる方は障害者手帳の交付を受け

※お問い合わせは、健康福祉課福祉係(62)2285まで

放送大学10月入学生募集

放送大学は、テレビなどの放送やインターネットで授業をおこなう通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で幅広い世代の方が学んでいます。ただいま平成27年10月入学生を募集しています。詳しい資料を無料で送付しますので、お気軽にお問い合わせください。

◆募集学生の種類 /

〈**教養学部**〉科目履修生(6カ月在学し、希望する科目を研修)、選科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)、全科履修生(4年以上在学し、卒業を目指す)

〈**大学院**〉修士科目生(6カ月在学し、希望する科目を研修)、修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修)

◆**出願期間** / 8月31日(月)まで、9月1日(火)~9月20日(日)

※資料請求・お問い合わせは、放送

ていなくても、必要と認められた支援を受けることができます。
※対象疾病の種類については、厚生労働省のホームページ、または健康福祉課福祉係(62)2285まで

「借金に関する相談窓口」のご案内

東北財務局山形財務事務所では、借金に関する相談窓口を開設しています。相談は秘密厳守・無料です。お気軽にご相談ください。

◆**相談専用電話** / 023(641)5201

◆**場所** / 山形財務事務所1階理財課(山形市緑町)

◆**受付** / 月曜日~金曜日(祝日、年末年始除く) 8時30分~12時、13時~16時30分

※お問い合わせは、山形財務事務所理財課 ☎023(641)5178まで

農地パトロールに伴う調査員の立入りについて

今年度も農業委員会が「農地パトロール(利用状況調査)」をおこないます。調査の際、調査員が所有地に立ち入る場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

◆**調査期間** / 8月~10月

◆**調査員** / 農業委員・農用地利用改善組合員ほか区農地精通者・町職員

◆**内容** / 農地の利用状況などについての調査
※お問い合わせは、農業委員会事務局(62)2868まで



7ミの声が聞こえるようになってきました。夏が来た、という感じがします。そして昨年「山形ふるさとCM大賞」の撮影のことを思い出します。CM制作の過程で、主人公が「電柱にとまっているセミを見上げていた少年の日を思い出す」というシーンを撮影しました。しかし、CMの長さはたったの15秒。時間の制約、構成上の都合により、このシーンは最終的にカットされることになりました。完成作品の中で聞こえてくるセミの声は、その名残です。15秒という時間は、さまざまなことが起こる日常を思えば、無意識のうちに過ぎていく「一瞬」のようなもの。毎年、無数のアイデアが生み出されては、限られた時間の中に収まりきれず、こぼれ落ちていきます。時計の針が無機的に刻んでいく1秒1秒を見つめながら、今年はこの「一瞬」に何を詰め込もうかと、ふと考えるしまうのです。

(伊藤智治)



つる細工教室作品展
望山 毛利信枝

リレー随想／ 《第98回》

この地で生きる

去年8月に地元大江町に12年ぶりに居住をうつした。実家の家業を継ぐというのが大きな理由だが、私の中には『地方に住むという可能性』を感じ地元で生きていこうと思った。

時代が大きく変わろうとしている。

都心で生きていて感じたのは、私が育った拡大の時代とは違い、色々なモノが縮小へと進んでいく時代に入ったということ。そして都市に集

中せざるを得なかった時代から、また変わってきているように感じた。企業は淘汰され、本当に強い企業のみが残っていく。または少数精鋭で専門分野に秀でている組織に分かれていく。

『足るを知る』という言葉があるが、私たちはまさに足るを知っているのだ。物が溢れ過ぎた時代である。生きる事はもっとシンプルで良い。シンプルに生きて、プラスのスパイスが少々あれば楽しめる。

コンピューターや流通、インターネットが発達し、情報や物質が溢れている。そんな中、本当に必要な物を選ぶという時代になってきた。自分にとって、今必要である物を選択する必要がある。豊富には必要のないのである。多いことが豊かさだった時代は終わったのだ。

なんだかそんな時代観を肌で感じていたら、急に地元での生活に魅力を感じたのだ。山形県大江町で生きていくことが、とても豊かな事に思えてきたのだ。

都心に住み、消費社会の一部になり、日々の生活が仕事場との往復、そして季節を感じる余裕もなく、外

の風を感じる事もなく、天気すら気温すら分からない一定の環境での生活では、人としての何かを失っていくようにも感じた。

夏には暑く、冬は寒く、季節に応じた太陽があり、季節の果物や野菜を頂き、地球と共に生きるような、なんて大袈裟な気にすらなる。

そして、今思うモダンな暮らしというのは、地方にあるのではないかと思っている。新しい物は都心だけにあるのではない。もとあるものを活かすのも私たちのセレクトとスタイルングによって変わっていく。

例えば、ワインが好きな私は、大江町で取れた山菜とスパークリングワインや白ワインが合う素晴らしいものすごく感じている。ワインは世界中の物が手に入る時代（山形県のワインも美味しい）。

この土地に根付いている昔からあるものと、私たち世代の感覚を融合し、より楽しく、面白い物にしていく。そうやって、自分のフィルターを通して大江町を楽しんで生きていくと、私は思っている。

(8区 大泉洋一)

人口と世帯(前月比)

町の人口	8,760人(-26)
男	4,329人(-13)
女	4,431人(-13)
世帯数	2,919戸(-7)

平成27年8月1日現在

戸籍の まど

6月21日～7月20日受付分

ご冥福を祈ります

田ノ沢	今野	長八	(80)
下北山	櫻町	糸子	(92)
5区	菊地	いせ	(84)
滝の沢	鈴木	昭一	(84)
10区	安藤	留子	(96)
6区	鈴木	こう	(94)
9区	結城	初太郎	(90)
9区	清野	つやの	(96)
木の沢	渡邊	キツヨ	(98)
藤田	庄司	榮太郎	(78)
小見	タカヤマ	タケシ	(58)
十八才	今野	佐登治	(83)
若原	鈴木	秀一	(63)
藤田	田中	清二	(75)

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(小見)	鈴木 拓也
(山形市)	草刈 早姫
(月布)	阿部 達也
(葛沢)	阿部 香菜子
(蛍水)	佐藤 拓郎
(山形市)	今野 恵里



※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。